



子どもたち 先生方の笑顔のために

壁面に掲示してご活用ください

# 共に歩まん

令和5年2月1日発行

第22号

中信教育事務所

ご意見はこちら→



←過去の「共に歩まん」はこちら

## シリーズ「キラリ☆先生方の実践」

このシリーズでは、各教科等の授業づくりや実際の授業の中で、先生方が実践された工夫や取組の様子などを紹介します。すぐに活用でき、ちょっとした工夫でその教科等の本質に迫り、資質・能力の育成の手助けとなりそうな支援や教材の工夫等の特集しました。先生方の工夫と、先生方の工夫から生まれた子供たちの姿を「キラリ」としてお伝えしていきます。1年間のまとめに向けて、授業づくりについて改めて見直す際の参考としてご活用ください。

「そういう方法があったのか!」「すぐに真似ができそう♡」と思えるアイデアの紹介です。同じような工夫をされている先生方もおられると思います。やってみての感想や他の実践などのご意見もお寄せください。



**【道徳科編】 松本市立鎌田中学校 荻無里 広造 先生**

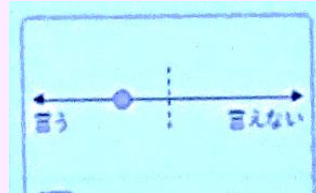
**第1学年 主題名「責任ある行動」 教材名「裏庭での出来事」**

### 荻無里先生のキラリ☆

### キラリ☆から生まれた子供の姿

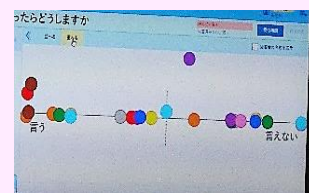
先生は、生徒たちが登場人物の立たされた状況に共感して、これまでの自分の体験から感じたり考えたりしたことを基に自己を見つめ、考えを深められるようにしたいと考えました。

①Aさんは、ガラスを割ってしまったことについて、「正直に言った方が心のモヤモヤが消える」と、責任ある行動をすることについての思いをもちつつも、実際に行動することの難しさを感じてポイントの位置を決め、迷う自分を客観的に見つめていました。



「心情メーター」を使うことで揺れ動く自分の気持ちを見つめたり、他者への関心を高めて対話を活性化させたりしようとしていました。

②自分の立場を明らかにした上で友の考えを知ったことで、他者の感じ方や考え方への関心が高まり、「正直に言う（言わない）理由は何か」について対話する姿につながっていきました。



先生のキラリ☆が、教科の特質に沿った子供たちの学びの姿につながっていったんだね!

